

## 新着資料の紹介

### 資料室

И. М. Белоусов 編 (1970) : 「Океанологические исследования (海洋研究)」, No. 20, ナウカ出版所, 147 p., 26 cm × 16 cm (露文)

#### 目次

И. М. Белоусов : 海洋調査船「アカデмик コバレフスキー号」の6～8航海における海洋研究, p. 5～10, 図1, 表1, 文献6

И. М. Белоусов : メキシコ湾南部とキューバ近海の海底地形の特徴, p. 11～21, 図7, 文献9

В. И. Мельник : メキシコ湾とカリブ海の地質学的研究, p. 22～41, 図3, 表5, 文献14

Ю. А. Иванов : カリブ海とメキシコ湾の水理学的研究結果, p. 42～45, 図1, 表1, 文献3

Ю. Г. Кабанова, Л. Лопес Балуха : メキシコ湾南部とキューバ北西海岸近辺の一次生成体, p. 46～68, 図12, 表10, 文献34

В. В. Зернова : メキシコ湾とカリブ海のプランクトン藻類, p. 69～104, 図23, 表6

В. В. Зернова : プランクトン藻類が繁殖したメキシコ湾の海水の色変化, p. 105～109, 図1

В. С. Шувалов, Д. Сайс, А. Кампос : メキシコ湾南部, カリブ海北部, 旧バハマ海峡における動物プランクトンの量分布, p. 110～127, 図5, 表5, 付録「動物プランクトンの種・形態一覧」, 文献15

Л. И. Москалев, Ф. А. Пастернак : メキシコ湾南西部とキューバ近海水域における底棲動物群の量分布について, p. 128～143, 図6, 文献22

Е. К. Лазаренко 編 (1970) : 「Минералогический сборник (鉱物学論文集)」, リボフ国立大学, 132 p., 26 cm × 17 cm (露文)

#### 目次

Е. К. Лазаренко : レーニンの理念に照したウクライナ共和国鉱物資源基地の発展, p. 3～11

А. С. Поваренных : 鉱物の I K-スペクトルと結晶化学的要素との関係, p. 12～29, 図9, 表4, 文献34

Э. А. Янчук : 天然マンガン酸化物のマンガンの配位, 磁性, 安定性, p. 30～36, 図4, 表2, 文献23

В. А. Письменный : 結晶の可視対称に対する動媒体の影響, p. 37～44, 図7, 文献3

М. А. Гневушев, Е. И. Шеманина : ダイヤモンド結晶分類の試み, p. 45～52, 表1, 文献22

Г. Ю. Григорчук : 熱水鉱化作用の段階性と鉱物共生の空間配列, p. 53～62, 図1, 文献31

Ф. В. Чухров, Л. П. Ермилова : 幾つかの鉱床の熱水性硫化物の硫黄同位体組成, p. 63～68, 表1

О. И. Матковский : ウクライナ カルパート地方古期変成生成体中のアルマンディンとスペツサルティン, p. 69～74, 図5, 表2, 文献14

Ю. Р. Данилович : ウクライナ カルパート地方角閃岩中の鉱物共生関係, p. 75～81, 図3, 表1, 文献8

М. Ю. Фишкин, В. Я. Чемурако : ベレゴボ鉱床の鉱物と変質岩中のカドミウムとガリウム, p. 82～88, 表4, 文献11

З. М. Ляшкевич, В. М. Ковалевич : プリアゾフ地方石英-長石質交代岩生成作用の物理化学的特徴, p. 89～98, 図5, 表2, 文献17

Б. В. Зацеха, Л. Ф. Лавриненко : プリアゾフ地方ソロカ構造帯鉱化作用の成因的特徴, p. 99～109, 図6, 表5, 文献16

A. A. Ясинская : アンドロニシュキス隕石の鉱物学的研究, p. 110 ~ 121, 図6, 表3, 文献20

И. Г. Прохоров : いわゆるルベリ-ライトについて, p. 122 ~ 127, 図8, 表1, 文献15

ソ連科学アカデミー堆積岩委員会 (1970) : 「Состояние и задачи советской литологии (ソビエト堆積岩石学の現状と課題)」, ナウカ出版社, 第2巻—248 p., 第3巻—286 p., 27 cm × 18 cm (露文)

第2巻目次

堆積性鉄鉱・マンガン鉱・アルミニウム鉱

Г. И. Бушинский : 堆積性アルミニウム鉱・鉄鉱・マンガン鉱・燐鉱集積作用の諸特徴, p. 5 ~ 17, 表2, 文献38

A. У. Литвиненко : ソ連の魚卵状鉄鉱, p. 18 ~ 24, 図2

Д. Г. Сапожников : ソ連のマンガン鉱床のタイプ, p. 25 ~ 33, 表1, 文献14

A. У. Абдуллаев : 中央アジアのボーキサイト埋蔵性研究の総括, p. 34 ~ 41, 図1, 文献11

A. К. Гладковский, А. М. Сульман, О. Н. Огородников : 風化殻とボーキサイト中のチタンの鉱物学と地球化学, p. 42 ~ 48, 図3, 文献7

堆積性有色金属鉱

В. М. Попов : 成層有色金属鉱床の成因問題, p. 49 ~ 57, 文献23

У. Асаналиев, В. М. Попов, Г. И. Давыдов : 中部天山地方デボン系と石炭系の堆積岩石学・相・鉱体 (Pb・Zn・Cu・Hg), p. 58 ~ 67, 図3, 文献5

М. Д. Троянов : ウズベク西部の鉛-亜鉛鉱体胚胎条件の地質学的特徴, p. 68 ~ 76, 図1, 表1, 文献25

Ш. А. Байкенов, И. С. Бродский, Р. А. Дегтярев : テケリースク形硫化鉄鉱-多金属鉱床における同生鉱化作用と後生鉱化作用の指標, p. 77 ~ 85, 図6, 文献12

Д. Н. Алексеев : プリアルグニエ地方先カンブリア系・古生層の堆積岩石学的, 地球化学的特徴とその中の多金属鉱体, p. 86 ~ 93, 図2, 文献9

Л. Ф. Наркелюн, Ю. П. Безродных, А. И. Трубочев : シベリア卓状地南部の含銅砂岩の分布と生成条件, p. 94 ~ 100, 図1, 文献15

А. М. Кутергин, Б. П. Белых, М. И. Денисов : プリウラル山脈上部ペルム紀含銅層の相と生成条件, p. 101 ~ 107, 文献8

А. М. Лурье : ドネツ盆地下部ペルム紀雑色層系中の銅鉱体胚胎の規則性, p. 108 ~ 114, 図3

И. П. Дружинин : ジェスカズガン層状硫化物鉱床の生成時における構造運動の役割, p. 115 ~ 122, 図3, 文献22

Е. В. Рожкова, О. В. Щербак, Э. Г. Васильева : 堆積層における鉛・亜鉛硫化物集積過程のモデル化, p. 123 ~ 129, 図3, 文献10

堆積岩中の稀少金属

В. Н. Холодов : 堆積岩中の稀少元素濃集タイプと鉱化理論の一般的諸問題, p. 130 ~ 141, 図5, 文献27

В. В. Бурков, К. В. Потемкин, В. И. Пятнов : 外因性タンタル鉱床の主要な成因タイプ, p. 142 ~ 148, 表1, 文献12

В. М. Чайка : 砂鉱進化の諸問題, p. 149 ~ 158, 図2, 表1, 文献19

Д. П. Сердюченко, К. В. Потемкин : 黒色頁岩, その変成生成体と稀少金属濃集作用との成因的關係, p. 159 ~ 164, 文献37

А. В. Коченов, М. М. Мстиславский, А. С. Столяров : 魚骨碎屑化石含金属層, p. 165 ~ 171, 文献16

Т. Н. Давыдова, Ц. Л. Гольдштейн, С. М. Суханова : 黒色頁岩の相・古地理と同岩中における

るウランの分布規則性, p. 172 ~ 179, 図 6

E. M. Шмаривич: 滞水層の酸素累帯配列と関連ある稀少元素濃集度, p. 180 ~ 189, 図 5, 文献 7  
砂 鉱 床

И. С. Рожков: 砂鉱堆積岩石学の特徴, p. 190 ~ 198, 表 4, 文献 4

Н. А. Шило, Ю. В. Шумилов: ソ連北東区陸生層の堆積岩石学の特徴, p. 199 ~ 206, 図 3, 文献 24

Е. Я. Синюгина, З. В. Стрепетова: シベリア 地方漂砂鉱床含金層の堆積岩石学的諸特徴, p. 207 ~ 211, 図 1, 表 1, 文献 4

В. И. Левин, В. А. Михайлов, С. В. Нужнов, И. М. Симанович: アルダン楕状地ダバングロ-フグダ地溝原生代含金礫岩の生成位置と堆積岩石学の特徴, p. 213 ~ 219, 図 3, 表 1, 文献 7

Г. С. Момджи, В. А. Блинов: ジルコン-チタン複合砂鉱床の堆積岩相上の生成条件, p. 220 ~ 227, 図 3, 表 1, 文献 8

В. В. Поликарпочкин: 数学的モデル化によって解決した砂鉱生成論の諸問題, p. 228 ~ 234, 図 3, 文献 6

В. В. Рыжов: 小沢の含錫石・含水晶砂鉱床の堆積岩石学, p. 235 ~ 239, 文献 9

### 第 3 卷 目 次

Н. А. Красильникова: 燐鉱生成条件の歴史的-地質学的発展, p. 3 ~ 9, 文献 11

Н. И. Юдин, Б. Г. Гуревич, Н. А. Красильникова, А. О. Смиркстын, О. П. Егорова: シベリア地方含燐灰土層の堆積岩石学, p. 10 ~ 17, 文献 23

А. А. Иванов: ハロゲン塩堆積作用の幾つかの問題とハロゲン層系の研究課題, p. 18 ~ 23, 文献 10

М. П. Фивег: 岩塩堆積期の古地理の特徴について, p. 24 ~ 31, 図 2, 文献 9

С. М. Корневский: ハロゲン層系岩相コンプレックス分布の規則性, p. 32 ~ 39, 文献 10

М. А. Жарков: シベリア地方岩塩層の生成条件とそのカリ塩埋蔵性の展望, p. 40 ~ 48, 図 4

В. И. Седлецкий: 中央アジア南部地域中生層の岩相の特徴とカリ塩埋蔵の条件, p. 49 ~ 57, 図 5, 文献 15

И. П. Жабрев, В. П. Казаринов, М. К. Калинин, А. Д. Султанов: 石油・天然ガス鉱床探査に対する堆積岩石学の意義, p. 58 ~ 62

С. Г. Саркисян: 石油・天然ガス地質学の理論的および実際の課題に対する岩相-古地理研究の意味, p. 63 ~ 69, 文献 49

А. А. Ханин, М. К. Калинин, Е. М. Смехов, Г. И. Теодорович, А. И. Конюхов, Л. П. Гмид,

С. Щ. Леви: 石油・天然ガス田における石油・天然ガス貯留岩, p. 70 ~ 76, 表 2, 文献 12

М. К. Калинин: 非透水体とその石油・天然ガス層の分布に対する影響, p. 77 ~ 81, 文献 2

В. А. Гроссгейм: 粒状貯留岩尖滅帯探査における堆積岩石学の課題, p. 82 ~ 86

А. М. Акрамходжаев, Н. Б. Вассоевич: 陸生型含油層の問題の現状, p. 87 ~ 95, 文献 35

Г. И. Теодорович: 採油・採ガス鉱業における堆積岩石学的-地球化学的研究の課題, p. 96 ~ 103, 文献 29

Ф. Г. Гурари ら 9 名: 卓状地陸生層中の石油・天然ガス層の堆積岩石学的-地球化学的生成・分布要素, p. 104 ~ 108

С. Г. Саркисян, А. Г. Сеидов, Г. И. Теодорович: 粘土鉱物と石油・天然ガス地質学の問題, p. 109 ~ 114, 文献 35

Т. А. Лапинская, Б. К. Прошляков: 大深度石油・天然ガス探査における貯留岩の問題, p. 115 ~ 121, 図 2, 表 1, 文献 9

П. П. Тимофеев: 夾炭層系研究の主な問題, p. 122 ~ 129

Г. А. Иванов: 夾炭層系の累帯配列, その科学的・実用的意義, p. 130 ~ 134, 文献 1

А. В. Македонов: ソ連の上部古生代前縁沈降盆地夾炭層系の成因と発達期, p. 135 ~ 141, 図 3

- Э. М. Сендерзон : 夾炭層系断面における堆積条件と堆積生成物との関係およびその規制度, p. 142 ~ 144, 表1, 文献3
- П. П. Тимофеев ら5名 : 岩石化過程における各種相の堆積物質の変質の特徴, p. 145 ~ 154, 図2, 表1, 文献4
- А. П. Феофилова : 化石土壌とその古景観形成および二次鉱物変質に対する意義, p. 155 ~ 160, 図1
- А. В. Македонов ら12名 : 現世の地質学的-地球化学的泥炭堆積条件, p. 161 ~ 167, 図1
- П. В. Зарицкий : ドネツ炭田における鉱物・結核積成生成体の変質, p. 168 ~ 174, 図1, 表1
- Я. К. Писарчик, М. А. Минаева, Г. А. Русецкая : シベリア卓状地におけるカンブリア紀堆積作用の条件, p. 175 ~ 181, 図3
- В. Д. Наливкин ら4名 : ソ連における中期-後期古生代地形条件の進化, p. 182 ~ 187
- К. М. Худолей : 太平洋カリブ海水域の古地形と地質史, p. 188 ~ 194, 図4, 文献13
- Г. С. Ганешин : ソ連の第四紀における古地形と堆積作用条件, p. 195 ~ 199, 文献7
- Ш. Г. Шараф : 気候の1世紀変化に影響する天文学的要素, p. 200 ~ 207, 図1, 表1, 文献9
- В. А. Гроссгейм ら8名 : 動力古地形学的データによる堆積盆底の構造地形の複元, p. 208 ~ 214, 図5, 文献4
- Ч. М. Халифа-Заде : 北アゼルバイジャン・ダゲスタン両地方中部ジュラ系の古地形学的生成条件, p. 215 ~ 221, 図2, 文献11
- Н. Н. Верзилин : フェルガナー地方白堊系の古地形学的研究の方法と結果, p. 222 ~ 228, 図4
- И. К. Королюк, М. В. Михайлова : バイオハーム生成体の相対的特徴, p. 229 ~ 235, 図4
- В. Т. Фролов : 海成層の生成形式とその共存関係, p. 236 ~ 242, 表1, 文献8
- Г. М. Гапеева : 古地形の複元に対する現世火山生成体の岩石学的解析の意義, p. 243 ~ 248
- Е. А. Соколова, Е. С. Базилевская, А. Брито, Д. Коутин : 火山源堆積-熱水性中間形マンガン鉱床について, p. 249 ~ 256, 図2, 文献10
- Н. Г. Бродская, М. Н. Ильинская : 内因性燐源と関係ある燐酸塩鉱の主な生成形式, p. 257 ~ 262, 表1, 文献5
- Л. Н. Формозова : 火山源堆積鉄鉱の産状と組成に対する火山作用および堆積変質作用の影響と生成形式, p. 263 ~ 268, 図1
- А. С. Калугин : 鉄鉱およびボーキサイトの生成に対する火山作用の影響, p. 269 ~ 274, 文献16
- И. Н. Богданчиков ら監修 (1968) : 「К. И. Сатпаев, избранные труды, (サトパーエフ選集)」, 第2巻, 「ジェスカズガン-ウルタウ区の有用鉱物資源」, ナウカ出版所, 221 p., 27 cm × 18 cm (露文)

目次

- ジェスカズガン-ウルタウ区の鉱物資源, p. 5 ~ 21, 図7
- ジェスカズガン-ウルタウ区の地質および鉱床分布の主な要素, p. 22 ~ 52, 表6
- カルサクパイ鉄鉱床群, p. 53 ~ 89, 図6, 表2
- ジェスカズガン-ウルタウ区の鉄・マンガン鉱床, p. 90 ~ 111, 図4, 表2
- クルガスイン鉛鉱床, p. 112 ~ 127, 図1
- ジェスカズガン-ウルタウ区金の鉱床, p. 128 ~ 138, 図3, 表2
- ジェスカズガン区石炭, p. 139 ~ 182, 図8, 表12
- 大ジェスカズガン山脈地域の耐火材料・熔剤・石材鉱床, p. 183 ~ 203, 表4
- ジェスカズガン-ウルタウ区地質・地下資源研究の新たな成功, p. 204 ~ 221

ソ連地質省 (1970) : 「Тектоника и нефтегазоносность окраинных и внутренних морей СССР (ソ連沿海・内海の構造地質と石油・天然ガス埋蔵性)」, 第20集, ネードラ出版所, 304 p., 図105, 表18,

文献417, 25 cm × 18 cm (露文)

目 次

- 第1部 沿海と内海の石油・天然ガス埋蔵性の比較評価に関する問題の現状
  - 第1章 現世海盆の石油・天然ガス賦存予測の根拠に関する理論的問題
  - 第2章 海洋石油・天然ガス資源に対する調査・探査作業
- 第2部 ソ連の沿海と内海の石油・天然ガス埋蔵性の展望と構造地質
  - 第3章 極東の海盆群
  - 第4章 南方の海盆群
  - 第5章 バルチック海
  - 第6章 北極洋の海盆群
- 第3部 ソ連の沿海と内海の海盆中における石油・天然ガス開発の道
  - 第7章 ソ連沿海・内海海盆における石油・天然ガス埋蔵性の比較解析
  - 第8章 海洋石油・天然ガスに対する地質調査と地球物理探査の合理的組み合わせ  
まとめ

Н. Ф. Шинкарев (1970): 「Физико-химическая петрология изверженных пород (火成岩の物理化学岩石学)」, ネードラ出版所, 248 p., 図114, 表11, 文献323, 22 cm × 15 cm (露文)

目 次

- 第1部 超塩基性岩・塩基性岩の晶出作用に関する実験データ
  - 第1章 合成濃縮系, 揮発成分を伴う系, 超塩基性岩の成因問題
    - § 1.  $MgO-SiO_2-H_2O$  系と「アルプス式」貫入岩の起源
    - § 2.  $CaO-MgO-FeO-SiO_2$  系
    - § 3. 5 kbar・10kbar 下での  $CaMgSi_2O_6-CaAl_2Si_2O_8-H_2O$  系
    - § 4. 低圧 (1 気圧) と高圧 (20 kbar) 下での  $CaMgSi_2O_6-CaAl_2Si_2O_8-SiO_2$  系と灰長岩の成因問題
    - § 5. 超塩基性岩・塩基性岩中の離溶現象に関する実験的および地質学的データ
  - 第2章 塩基性・超塩基性マグマの晶出時における酸素分圧の意味
    - § 1.  $FeO-Fe_2O_3-SiO_2$  系
    - § 2.  $MgO-FeO-Fe_2O_3-SiO_2$  系
    - § 3. 玄武岩質マグマの晶出過程に対する酸素分圧の影響
    - § 4.  $MgO-FeO-Fe_2O_3-CaAlSi_2O_8-SiO_2$  系
    - § 5.  $Mg_2SiO_4-MgCaSi_2O_6$ -鉄酸化物系
    - § 6. 岩石の晶出時における酸素分圧値の近似計算
  - 第3章 超塩基性・塩基性組成岩石中の鉱物組成と平衡関係に関する実験的・経験的資料
    - § 1. 鉱物組成
    - § 2. 岩石の熔融に関する実験データ
    - § 3. マグマ生成系のタイプと成因に関する幾つかの結論
- 第2部 アルカリ組成の岩石の晶出作用に関する実験データ
  - 第4章 組成がアルカリ-超塩基性岩およびアルカリ-塩基性岩に近い系
    - § 1.  $Mg_2SiO_4-CaMgSi_2O_6-SiO_2$  系
    - § 2.  $NaAlSi_3O_8-Mg_2SiO_4-SiO_2-Ca_2SiO_4$  系
    - § 3.  $Na_2O-Fe_2O_3-Al_2O_3-SiO_2$  系
    - § 4. 黄長石岩の晶出作用
    - § 5. 深部におけるマグマの可能な分化方式
    - § 6.  $KAlSi_3O_8-Mg_2SiO_4-SiO_2-H_2O$  系とカリウムに富む超優黒質アルカリ岩の成因

第5章 アルカリ鉱物の平衡

- § 1.  $\text{NaAlSiO}_4\text{-KAlSiO}_4\text{-SiO}_2$  系
- § 2.  $\text{NaAlSi}_3\text{O}_8\text{-NaAlSiO}_4\text{-NaFeSi}_2\text{O}_6\text{-CaMgSi}_2\text{O}_6\text{-H}_2\text{O}$  系
- § 3. アルカリ岩の場合の理論的地熱勾配
- § 4. アルカリ岩を形成する花崗岩質マグマ中の分化形式

第6章 アルカリ・マグマの可能深在体

- § 1. 構造地質的位置
- § 2. アルカリ・コンプレックスの分化過程の特徴
- § 3. アルカリ・マグマの由来に関する諸問題

第3部 花崗岩質組成の岩石の晶出作用に関する物理化学的データ

第7章 花崗岩構成鉱物の相的性質

- § 1. アルカリ長石  
晶出温度と構造状態 長石の構造状態の岩石学的意義
- § 2. 斜長石
- § 3. 石英
- § 4. 雲母
- § 5. 角閃石

第8章 花崗岩質組成の合成系と天然系の実験データ

- § 1.  $\text{NaAlSi}_3\text{O}_8\text{-KAlSi}_3\text{O}_8\text{-SiO}_2\text{-H}_2\text{O}$  系
- § 2. 一部の  $\text{K}_2\text{O-Na}_2\text{O-Al}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2\text{-H}_2\text{O}$  系
- § 3.  $\text{CaAl}_2\text{Si}_2\text{O}_8\text{-SiO}_2\text{-H}_2\text{O}$  系
- § 4.  $\text{NaAlSi}_3\text{O}_8\text{-KAlSi}_3\text{O}_8\text{-CaAl}_2\text{Si}_2\text{O}_8$  系
- § 5. 長石-アルカリ塩化物水溶液系における熱水性イオン置換と気相中の成分移動

第9章 花崗岩質マグマの生成とその進化の問題

- § 1. 地殻構成物質の部分熔融または完全熔融
- § 2. アナテクシス過程における熱源の問題
- § 3. 花崗岩質マグマ——マンツルの分化体か?
- § 4. 花崗岩の同位体組成
- § 5. 花崗岩メルトの構造, その粘性, 対流, 分化
- § 6. 花崗岩メルトからの水の分離過程とそのマグマの進化に対する影響
- § 7. 各タイプの花崗岩の起源の特徴